

変わらず前向きに



衆議院議員
あべ 俊子

昨年は皆様のお力添えのおかげさまで再び国政の場へ送り出して頂くことができました。あらためて栃木県看護連盟の皆様のご支援の大きさをかみしめ、心より感謝いたしますとともに、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。私自身は2期目を迎え、厚生労働委員会をはじめとした公式な委員会において質問する機会が大幅に増えています。一方で、政権交代により国会の風景も大きく変わりましたが、机上の論議に終始せず、現場の声や専門家のご意見に耳を傾け、国民にとって意義のある質問を重ねていこうと努める毎日です。そして国民の皆さまの期待に応えられるよう、党の再生にも真摯に取り組んでまいります。また昨年は関係各位のご尽力により、**念願の「保助看法」「看護師等の人材確保に関する法律」の改正という結果が得られ**、看護界にとって明るい話題になりました。これからも看護の諸課題の解決に向け全力で頑張るという私自身の志は変わることなく、常に前向きに取り組む所存です。そしていよいよ本年7月の参議院議員選挙には、看護職出身の**たかがい恵美子**さんが自民党公認で立候補します。**国政の場で看護の政策に取り組む仲間を増やすためにも**、圧倒的な票でたかがい恵美子さんを当選させるべく、今後とも皆さまの力強いご支援を賜りたく心よりお願ひ申し上げます。

栃木県看護連盟の皆さま、こんにちは。いよいよ勝負の年、翔ける寅の年を迎え、私、たかがい恵美子も全国を存分に翔けます。

昨年、次期参議院選挙の候補予定者に決定いただき、以来ホップからステップへと活動を展開してまいりました。栃木県には昨年6月、10月並びに11月と3度お伺いし、多くの皆さまと感激のひとときをもつことができました。お会いした皆さまの笑顔と励まし、そして、皆さまとの一体感が、次へと向かうエネルギーとなって、元気に活動を続けさせていただいております。

国民が安心して暮らせる社会保障を実現し、一人ひとりのいのちを大切に守りたい。次の世代にどんな社会を準備しなければならないのか、いのちに寄り添い常に生きる力を守る看護・介護職が気付いていることを、**今こそ言葉にして伝え、必要な社会保障のしくみを提案し、その実現のために行動しなければ手遅れになる。**私は、そんな危機感をもっています。この危機に対し、生きる力を守るプロとして、その仲間の最先鋒に立たせ、どうぞ私を働かせてください。皆さまお一人おひとりの情熱とともに、来たる7月に新たなスタート地点に立つための活動に全力を尽くして参ります。

本年3月、4月と再び栃木県看護連盟の皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

翔けまわる年



たかがい 恵美子